

きしゅう会計 これだけかわら版

2021
February
02



書籍紹介 近藤史恵 著
「割り切れないチョコレート」

投資と節約
iDeCoってなんだ？



税理士法人きしゅう会計

〒644-0002 和歌山県御坊市藺208-4 TEL:0738-22-0463



事務所HP
www.kishu-kaikei.com



事務所通信
www.kishu-kaikei.com/page_003.html

いつもありがとうございます。きしゅう会計の名倉です。さて、いつもの寒さの中の繁忙期。コロナにもインフルにも気をつけてがんばります。「えっ、使い回し」と嫁に言われましたが、バレンタイン月にとってもいい話だし、新しい読者の方にも読んでほしいので、リメイク再掲です。タルトタタンの夢～近藤文恵著～

小さなフレンチレストランビストロ、パ・マルで繰広げられる料理に関するプチミステリー集『タルトタタンの夢』（全7話の短編集）より「割り切れない チョコレート」を紹介します。このお話には「ノンブル・プルミエ」というチョコレート専門店が登場します。「ノンブル・プルミエ」というのは日本語で「素数」という意味です。素数は $2 \cdot 3 \cdot 5 \cdot 7 \cdot 11 \cdot 13 \cdot 17 \cdot 19 \cdot 23 \cdot 29 \dots$ と、1より大きい自然数で1とその数でしか割り切れない数のことです。「ノンブル・プルミエ」は、8個とか10個入りではなく、全てこの素数（3個、5個、7個、11個、13個、17個・・・）のセットになっている不思議なお店。物語はこのお店のオーナーの鶴岡氏とその妹さんのパ・マルでの会食シーンから始まります。出されたボンボン・オ・ショコラにクレームをつける鶴岡氏。たちの悪いクレマーではなく的を得た内容にチョコレートに対する熱い思いを感じる三舟シェフ。後日またやってきた二人。今度は何か激しく言い合って怒って一人で店を出て行く鶴岡氏。残されて呆然としている妹さんに、話しかける三舟シェフ。2人は小さな頃から母子家庭だったそうで、お母さんは苦しい生活でもいつも明るくて優しく、時々もらうお菓子も「私はいらないから2人で分けなさい」と、自分はひとつも食べなかったらしい。そんなお母さんに美味しいチョコレートを食べてほしいとフランスに修行に出た鶴岡氏。日本に戻り自分の店をオープンし大成功。妹は忙しいのは分かるけど、すっかり体調を崩して余命幾ばくもない母親に会いに来てほしいと切願していたのだという。それでも、今は会いにいけないという兄に妹は「お兄ちゃんは人が変わってしまった」とため息を漏らす。そんな妹に三舟シェフは、「お兄さんは何も変わっていないよ。店の名前から分かるよ。お母さんは昔2人で分けられなくて残ったときだけお菓子を食べてなかった？」と切り出します。「はい、2人で喧嘩になってはいけないからとそんな時だけ食べてくれました」「やっぱりね。きっとお兄さんは全国にいるそんなお母さんを応援したくて、必ずひとつ残るセットにしているんじゃないかな。お兄さんはとても優しい人だね」

「投資と節約」

「いでこ（iDeCo）？初めて聞きました！」年に何回もお客さんから聞く言葉です。日本人は他の先進国に比べて金融リテラシーが低いと言われます。（※リテラシーとは情報を上手に活用する能力）つまり金融知識を活用しての財産の形成が下手ということ。お金の話って日本では学校教育の中に組み込まれてないので（欧米は違います）、自分で意識しないと金のお金を学ぶ機会はありません。金のお金を考えなくても安心して生涯過ごせるならいいのですが、現状はそうではありません。国もそこは分かっているのでしょうか。今では老後の財産形成ができるようにと前述のiDeCoやNISA等、有利な制度を作ってくれているのですが、まだまだ浸透していないようです。そこでここではできるだけ使える金融情報を盛り込んで行きたいと思っています。令和2年の確定申告は真っ最中ですが、令和3年の有利な申告に向けて、まずはiDeCoを学びましょう。

iDeCoの良いところは、掛け金が全て所得控除となること。例えば生命保険等の掛け金は年間に何十万払っても、最大でも14万円しか控除できません（保険は安心を買うもので節税のために買うものではありません。）。ところがiDeCoはサラリーマンの場合で年間276,000円掛けられて、全額所得控除になるので、実効税率20%の人で、55,200円税金が安くなります。つまり、2割引きで金融商品が買えるのです。こう言っても「元本保証ではないのでしょ」と不安がる方もおられるでしょうが、そこは長期投資の考え方でクリアしましょう。iDeCoの対象となる投資信託は商品にもよりますが、経済が大きくなれば値上がりするものも多いです。経済の大きさは「人口×消費」です。世界の人口は増えていますし、まだまだ貧しい国も多く今後消費も増えるはず。つまり短期でみると上下の変動があっても、長期でみると投資信託の価値はあがるはずなのです。楽天ポイントなんかで投資信託が買えることも後押ししているでしょう。今ではこの考え方で投資する若い人も増えてきているようです。金融の世界には「72ルール」があり、これは72を金利で割ると2倍になる年数が計算されるというものです。年率6%で回すと12年で2倍になるのです。定期預金の金利が0.01%とすれば、定期預金で2倍にするには、 $72 \div 0.01 = 7200$ 年。やはりリスクを取って投資を考える必要はありそうです。

以下のQRコードから、かわら版ブログを御覧ください。1月31日の記事でどこで運用すればいいかなどもう少し詳しく書いています。

これだけかわら版の他の話は
こちらのQRコードから！

よもやまかわら版ブログ

<https://plaza.rakuten.co.jp/nakuken>

